

令和3年11月17日
資料提供

河西緩衝緑地湊緑地、河西緩衝緑地松江緑地、河西緩衝緑地河西公園、河西緩衝緑地西松江緑地及び河西緩衝緑地東松江緑地の指定管理者候補者を選定しました

河西緩衝緑地湊緑地、河西緩衝緑地松江緑地、河西緩衝緑地河西公園、河西緩衝緑地西松江緑地及び河西緩衝緑地東松江緑地の令和4年4月1日からの指定管理者について、募集を行った後、選定委員会の審査を経て、下記のとおり指定管理者候補者を選定しましたのでお知らせします。

なお、指定管理者の指定は、本年12月県議会での議決を経た後に行う予定です。

記

- 1 申請者 令和3年9月2日から令和3年9月15日まで募集を行ったところ、次の1者から申請がありました。

名称 公益財団法人和歌山県スポーツ振興財団
所在地 和歌山県和歌山市手平二丁目1番2号
代表者 理事長 横尾 英治

- 2 指定管理者候補者の名称 公益財団法人和歌山県スポーツ振興財団

3 審査の概要

(1) 審査の方法

令和3年10月19日に開催された和歌山県都市公園等指定管理者選定委員会において、申請者から提出のあった書類の審査やヒアリングを実施し、あらかじめ定めた審査項目を、審査基準ごとに集計する方法により採点を行い、申請者が1者のため、合計点数が、あらかじめ定めた最低点（60点）に達していれば、指定管理者候補者とする方法で行いました。

(2) 選定委員会の構成

委員（長）	氏名	役職
委員長	田中 昭彦	弁護士
副委員長	谷 奈々	一般財団法人和歌山社会経済研究所研究委員
委員	上野 隆也	税理士
委員	中島 敦司	和歌山大学システム工学部教授
委員	中山 健	大阪体育大学体育学部教授
委員	彦次 佳	和歌山大学教育学部准教授

(3) 採点結果

審査基準	配点	審査項目	個別点	県スポーツ振興財団
1 県民の平等利用の確保 (確保されない場合は失格)	5	①施設の設置目的を十分理解し、県民の平等な利用が確保されているか	5	5.00
		計	5	5.00
2 施設効用の最大限発揮	35	①施設運営の提案内容が、施設の設置目的に合致し、利用者の増加に資する具体的・現実的な内容となっているか	10	7.33
		②利用者の意見・要望の把握手法が適切で、施設運営に反映される内容になっているか	5	3.17
		③施設事業の運営内容が具体的・現実的で、施設の設置目的に資する内容となっているか	5	3.50
		④自主事業の提案内容が魅力的かつ具体的・現実的で、施設の効用の増進に資する内容となっているか、また、子供や成人向けに限らず障害者の方などより広く県民が施設に親しむことができる機会を提供しているか	10	7.00
		⑥県及び関係機関との連携・協働が期待できるか	5	4.17
		計	35	25.17
3 効率的な管理運営	20	①業務要求水準を超える効率的・効果的な内容となっているか	5	3.50
		②経費の節減について具体的で現実的な提案があるか	5	3.67
		小計	10	7.17
		③提案額の評価(自動計算)	10	10.00
		計	20	17.17
4 管理を安定して行う能力	30	①施設の適切な維持管理を行う内容となっているか(仕様書に記載した業務要求水準) ※確保されない場合は失格	10	10.00
		②財政基盤が安定し、施設管理を効率的・効果的に行う能力を有しているか	10	6.67
		③施設の管理運営業務に関する知識・経験を有した職員を配置でき、利用者への安全対策等を十分行える体制となっているか	5	3.67
		④災害時・緊急時に適切な対応をとれる体制となっているか	5	4.00
		計(①+②+③)	30	24.33
5 地域・社会貢献	10	①県内に事務所等を置いているか。	6	6.00
		②法定雇用障害者数等を超過して障害者を雇用しているか。	3	3.00
		③障害者就労施設等から物品等を調達しているか。	1	1.00
		計	10	10.00
合計			100	81.7

(4) 総評

地域・社会貢献について基準を満たしていたほか、管理を安定して行う能力に優れていると評価されました。

お問い合わせ先
都市政策課 管理調整班
担当者 山本 内線3230